

「特発性肺線維症:Idiopathic Pulmonary Fibrosisに関する研究」

(作製日 2018年6月28日、第1版)

当院では、標記研究を実施しております。

原因不明の間質性肺炎を特発性間質性肺炎(IIPs)と呼び、我が国では指定難病となっています。特発性間質性肺炎は幾つかの間質性肺炎に分類され、その中でも特発性肺線維症:Idiopathic Pulmonary Fibrosis(IPF)と呼ばれる間質性肺炎は、最も重要な間質性肺炎、肺線維症ですが、不明な点が多く残されています。

1. 研究意義、目的

全国からIPF症例を募集し、多数例について、臨床、画像、病理を検討しワークショップを開催します。IPFの病態を明らかにします。

2. 研究対象

外科的肺生検にてIPFと各施設で診断され、診断後3年以上の経過、転帰の確認できる患者様(3年以内の死亡例を含む)。全国から約25名登録し検討。

3. 研究内容

患者様の臨床情報、CT、病理検査を調べて、病気の内容、病気の程度、治療内容、検査データなどを調査します。資料は、匿名化し、NHO近畿中央胸部疾患センターで保存解析されます。

4. 方法

臨床データ、CT、病理所見を全国から収集し、ワークショップ(2018年8月24日予定)で詳しい検討を行います。

5. 個人情報の取り扱い

個人情報、資料(臨床情報など)は全て匿名化し、近畿中央胸部疾患センターにて保存いたします。

6. 研究期間 研究許可日から2021年3月31日まで(解析期間を含む)。

ご不明な点がございましたら下記へお問い合わせ下さい。この研究は近畿中央胸部疾患センター臨床試験審査委員会で承認を受けた研究です。もし研究対象になることを望まれない患者様は研究代表者までご連絡ください。

研究代表者 井上義一

施設研究責任者 井上義一(NHO近畿中央胸部疾患センター)

問い合わせ先 TEL 072-252-3021